



NPO法人楽アートプロジェクト
代表 **山形 楽さん** (小田中)

県北で中学校教員として美術を教え、退職後、大阪府と岡山県内でパステル画や水墨画などの教室を開き、美術を教えている。また、作品展を開催するなど、アートの魅力を広める取り組みを精力的に行っている。



津山さくらまつりで展示したオブジェ



竹細工などのオブジェに明かりを灯した
徳守神社の万燈籠



NPO法人楽アートプロジェクトを立ち上げたきっかけは？

平成28年10月に、文化遺産に詳しい知人から「廃業した田外醤油本店（高尾）の蔵に、130年近く醤油造りに使われた大小さまざまな樽が100個ほどある。美術家として何か活用できないか」と相談を受けました。わたしは居ても立ってもいられない気持ちになり、早速、見に行きました。樽を見た瞬間、頭の中に次々とアート作品のイメージが浮かんできました。

樽職人の優れた伝統技術と現代芸術を融合させて新たな魅力を生み出し、見る人を楽ませるアート作品が作れそうだと思います。すぐにメンバーを集めて、プロジェクトを立ち上げました。

どのような活動をしていますか？

古い醤油樽や桶を使ってオブジェやテーブル、椅子、展示棚などを制作しています。また、竹を使った花入れや灯籠なども制作しています。それらの作品は、津山城（鶴山公園）の津山さくらまつりや、徳守神社（宮脇町）の夏祭り、さら山時代祭などに展示し、地域の活性化に取り組んでいます。

見た人から「趣があって良いね」「風雅な世界を醸し出しているよ」などと言われると、苦労して制作した甲斐があったという達成感とうれしさが込み上げてきます。

津山の皆さんにメッセージを

醤油樽を使った新作のオブジェや、新たな資源を使ったアート作品も制作したいです。展示したときには、皆さん、ぜひご覧ください。



6月に催された本郷寺（小田中）の美作国万灯会や、7月に徳守神社（宮脇町）で開催された楽アートプロジェクトによる万燈籠のほか、毎年、冬季に開催される「津山街ナリ工」など、「光の芸術」によるイベントが増えたと感じます。美しい光の力で人を元気に。「がんばろう津山！がんばろう西日本！」(W)

7月の豪雨で被災された皆さまには、心からお見舞い申し上げます。近くの川が溢れたことはないのですが、大雨特別警報が出て大丈夫と思っていました。幸い氾濫はしませんでした。水が引き、崩れた河川敷を見た時はぞっとしました。災害が起きそうな時にどう行動するか改めて考えようと思います。(C)

7月の豪雨で多くの人が身の危険を感じたと思います。今にも溢れそうな川を見た瞬間、6月号で特集した大雨の危険性や土砂災害の前兆現象などのことを思い出し、危機が迫っている！と慌てました。災害はいつ起こるか分からないので、定期的に家族や友だちと防災について話し合おうと思います。(S)

編集・発行
津山市総合企画部秘書広報室(〒780-3000)
〒780-8501 岡山県津山市山北520番地

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後リサイクル(資源)にご協力ください。

☆広報津山はホームページで閲覧できます
<https://www.city.tsuyama.lg.jp/>



☆津山のフェイスブックはこちら
<https://www.facebook.com/city.tsuyamakouhou>

